

## 令和5年度 第2回奈良市スポーツ推進審議会会議録

開催日時	令和6年3月27日（水）午前10時00分～11時40分		
開催場所	市庁舎北棟602会議室		
出席者	委員	高橋会長、天野副会長、笠次委員、成瀬委員、福山委員【5人出席】（星野委員、野阪委員は欠席）	
	事務局	谷田市民部長、池田市民部次長 北出課長、森課長補佐、佐々木スポーツ振興係長	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	市民部 スポーツ振興課
議題 又は 案件	1 奈良市第2期スポーツ推進計画（案）について 2 令和6年度の施設整備について 3 その他		
決定又は 取り纏め 事項			

### 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1 第2期奈良市スポーツ推進計画（案）について  
事務局より前回の審議会の意見を受けて修正等行った計画案について説明し、最後に今後のスケジュールを示した。

**【意見、質問】**  
 （委員） 計画の枠組みとして、大きく2つの理念、4つの方針、7つの課題がありそれに対する23の取組があるということか。  
 （事務局） お見込みのとおり。  
 （委員） その枠組みはどこを見ればわかるか。  
 （事務局） 内部調整用資料として以前に計画（案）の概要を作成したが、今回は提示していない。本日の意見等も踏まえた概要版を作成する。  
 （委員） 枠組みを市民にわかりやすく示すことは重要。  
 資料1-1の5ページの図について、市民があつて、その周辺を様々なステークホルダーが連携・協力するという考え方は非常に良いが、矢印の始点と終点を地域にしている理由はあるのか。またステークホルダーのうち、行政が円の一番下の部分になっているが何か意味を持たせているのか。  
 （事務局） 矢印はステークホルダー全体で連携・協力という意味を表しており、始点・終点に特に理由はない。また、円の下部に行政があるのも特に意味はない。  
 （委員） 了解した。図の見せ方は非常に大事になるので再度検討してもらいたい。矢印はあえて無くすという手もある。

15 ページの基本理念の説明文について、第3期スポーツ基本計画の前に「国の」とつけるなど、どこの計画かというのを追記した方が良いのでは。また、今年の1月下旬に国が「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」を発出した。このガイドによりこの先10年間の健康づくりが進められていくので、このガイドの内容も計画のどこかで絡めることはできないか。

(事務局) 当該ガイドの内容を確認し、基本理念の考え方や計画の位置付けなどに追記できるか検討したい。

(委員) 計画期間について、10年間であるが計画期間中でも必要が生じた場合は見直しを行うと明記している。しかし、国の方針が新しくなった際など、加筆や修正を行う必要がある。5年後には見直すと明記した方がよいかどうか、どう考えるか。

(事務局) 10年という期間は非常に長く、情勢もかなり変わってくる。奈良県は5年の計画期間でありそれに比べると長い期間にはなるが、現計画期間に合わせ、計画期間は10年で必要に応じて見直しを行うとしている。

(委員) 国の健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023 は中間評価やその他科学的知見を踏まえて中間見直しを行うとしている。

(委員) 現計画でも13年に作成し、18年に改訂を行っている。

(事務局) 計画途中で経過を見たうえで、きちんと修正すべきところは行う必要はある。一旦5年で状況を見て修正を加えるとしていきたい。

(委員) 前回に意見をしたマーケティング、ブランディングについては、今回の説明のとおり計画に記載するのは難しいのは理解した。ただし、今後事業等を行っていく際には、体を動かしていない人たちが、その事業等をきっかけに少しずつ体を動かそうという気持ちにどうすればできるかが重要で、その環境を創出していかなければならない。市が、市民の皆さんに

スポーツができる環境を提供しているということを打ち出し、それを丁寧に積み上げていけば、市民の意識も変えられるのではないか。

(委員) マーケティング、ブランディングについて、方針4などで触れておいてはどうか。

(委員) 数値目標について、奈良市はスポーツが盛ん・スポーツがしやすいまちと思う市民の割合について、昨年アンケートで項目としては行ったのか。

(事務局) 行っていない。

(委員) スポーツ実施率は調査したか。

(事務局) それは実施した。

(委員) 数値目標を掲げているので、今後きちんとフォローしてもらいたい。

(事務局) 2年に1度行っている市民意識調査でスポーツ実施率とスポーツが盛ん・スポーツがしやすいまちと思う割合について質問し、定期的に状況を見ていく予定。

(委員) アンケート調査の結果における30歳代、40歳代の女性のスポーツ実施率が低いのは永遠の課題。その子どものスポーツをできる充足感、満足度を図れば直接の解決にはつながらないかもしれないが、そこから何かのアイデアが生まれるのでは。

(委員) アンケート結果は公表するのか。

(事務局) 計画の資料として添付し公表する。

(委員) 先ほども意見があったが、女性のスポーツ実施率が低く、特に全くしないがど

の年代においても多い。取組7に、女性への啓発を入れることはできないか。また、事業を進めるうえでも、女性がスポーツに取り組みやすいきっかけを作るようにしてもらいたい。

(事務局) 取組3に働く世代や子育て世代のスポーツを楽しむ機会の創出を掲げているので、取組7以外でも取り組めるように検討したい。現在、鴻ノ池運動公園のランニングコースを整備しており、夜間でも女性や子供もウォーキングやジョギングができるように整備を進めている。

(委員) 取組7で無関心層という表現をスポーツに取り組めていない層に変更してはどうか。取り組みたいが取り組めていない人もいると思うし、そこに女性を含めてみてはどうか。

(委員) 同じく取組7の医療や教育などスポーツ以外の分野と記載があるが、限定的にとらえられるので他分野としてはどうか。他分野との連携とすることで、例えばマーケティングなどにも広がるのではないか。

(委員) 基本理念のスポーツでまちづくり・ひとづくりは良い。その理念の説明について、まちづくりはこれで良いが、ひとづくりの説明について、説明になっていない(独立変数が2つあり、同じことを言っている状態になっている)。人々が多様なスポーツ参与をすることによって、こんな人ができましたと説明をする必要があるのではないか。常識的に考えれば、スポーツをすることによって人格が形成されるというのが人づくりになる。

ただ、ここでのひとづくりとは、スポーツをする人、多様なスポーツ参与をする人を作りましょうという説明であることは理解できるので、このままでも良いとも思う。

(委員) 市民はこの理念の部分を見て理解したい。この文章だけでこの10年間やっていくので一番重要。理念の説明文章を修正してもらいたい。また、まちづくりはこんなまちづくりを目指している。ひとづくりはこんなひとづくりを目指しているという段落構成にしてはどうか。

(委員) まちづくり、ひとづくりを大雑把なくくり書いてはどうか。細かく書くと逆に漏れが生じるかもしれない。

(委員) 第4段落目を先に持ってきて、文章を整理すればどうか。

(委員) 第4段落目は非常に良い文章。スポーツは人を育むというのはひとづくりより市民も受け入れやすいのではないか。順番を整理し、言葉を整えてもらいたい。

(事務局) ご意見の内容を整理し、わかりやすい文章が一番大事なので、それを念頭に理念の説明部分について修正したい。

## 2 令和6年度の施設整備について

事務局より令和6年度の施設整備の予定を報告。

### 【質問】

(委員) 施設整備については、ぜひ進めてもらいたい。

今回の施設整備に際して、避難所という言葉が出てきたので一言。現在、日本災害学会のB h e l p運営委員会のインストラクターをしており、避難所開設時の立ち上げのコーディネーター、調整役を養成している。災害関連死(深部静脈血栓症や感染症など、災害に

より直接亡くなるのではなく、避難所へ向かう途上や避難所で亡くなる方)を防ぐことが一番のコンセプト。災害関連死が多くなっているので何とか減らしたい。それには避難所の立ち上げが大事であり、避難所となる学校に最初にいるは先生なので、教員を養成していきたい。行政職の方も是非参加してもらいたい。

(委員) 野球場はボードができるということか。

(事務局) 現在手動のスコアボードをデジタルに変更する。

(委員) 昨年整備したスケートボードパークは順調に人が集まっているか。

(事務局) 夜間照明も整備し順調に集客できているが、冬場や雨の日は少ない状況。

## 6 その他

(特になし)

資 料	【資料 1-1, 2, 3, 4, 5】奈良市第 2 期スポーツ推進計画 (案) について 【資料 2】令和 6 年度の施設整備について
-----	---

奈良市スポーツ推進審議会会議運営要領第 3 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

令和 6 年 4 月 日

委 員

委 員